

第29期 第1回北九州市スポーツ推進審議会

- 1 開催日時 令和3年12月17日(金) 15:00～16:00
2 開催場所 ミクニワールドスタジアム北九州3階ビジネスラウンジ
3 出席者 委員11名、事務局(北九州市)12名 計23名

- 【審議会委員】 磯貝 浩久(九州産業大学教授)
梶山 幹子(北九州市小学校体育連盟)
酒井 孝子(福岡県女子体育連盟理事長)
塩川 久美(北九州市中学校体育連盟)
長戸 操(門鉄広告社代表取締役社長)
中山 育美(福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会理事)
平野 月子(NPO法人北九州市レクリエーション協会理事)
船津 京太郎(九州共立大学教授)
眞鍋 厚毅(北九州市障害者スポーツ協会事務局長)
宮田 義高(公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長)
山本 浩二(北九州市立大学准教授)

- 【事務局】 三浦 隆宏(市民文化スポーツ局スポーツ担当理事)
天本 克己(市民文化スポーツ局スポーツ部長)
神谷 直秀(市民文化スポーツ局スポーツ振興課長)
西村 猛(市民文化スポーツ局スポーツ施設担当課長)
森 善裕(市民文化スポーツ局マラソン担当課長)
檜木野 裕(市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室長)
山根 英明(市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室次長)
藤本 将志(市民文化スポーツ局世界体操・新体操選手権推進室次長)
大前 亜弥(市民文化スポーツ局世界体操・新体操選手権推進室課長)
ほか、市関係課から3名が出席

- 4 傍聴者 なし

- 5 議事 (1) 議題
①会長・副会長の選出について
②審議会開催予定について
③令和2年度主要事業の報告について
(2) 報告
①オリンピック・パラリンピック関連事業等について
②2021世界体操・新体操選手権北九州大会について
③北九州マラソン2022について

6 議事内容

(1) 議題

①会長・副会長の選出について

磯貝委員が会長に推薦され、異議なく承認された。

酒井委員、船津委員が副会長に推薦され、異議なく承認された。

②審議会開催予定について

事務局より説明を行い、原案どおり承認された。

③令和2年度主要事業の報告について

事務局より説明を行い、下記のとおり質疑応答の上、原案どおり承認された。

委員A：現在、学校部活動の地域スポーツへの移行の問題が上がってきている中で、北九州市は充実しているという報告があるが、このシステムについて、教育委員会で作られているのか、それとも各学校で指導者の確保に務めているのか、他に学校に指導者を送り込むシステムがあるのか、説明を求める。

事務局A：部活動に関してであるが、担当課が違っており（未出席であり）、生徒指導・教育相談課の部活動担当がいるため、ご意見ご質問は教育委員会担当課へ持ち帰らせていただき、回答させていただきたいと思う。

事務局B：補足であるが、学校部活動の地域スポーツへの移行の一環として、教育委員会が関係しているかは不明だが、市には総合型スポーツクラブエースという総合型地域クラブがあり、そちらが中学生を対象とした野球のクラブチームとして、市軟式野球連盟に登録しているということは伺っている。

委員B：部活動在り方会議に、出席しているため、お答えさせていただく。教育委員会が各学校に外部コーチ登録なり、各指導者の希望調査をかけて、教育委員会が上がってきた指導者を集約して選定してという流れで行っている。意向のところは、今、検討委員会で会議を進めており、来週月曜日にまた会議があるが、来年度から、もうスタートするため、教育委員会が主導で行っている。学校は教育委員会から降りてきたものを動かしているという状況。

委員A：学校部活動に送り込む指導者登録や指導者名簿はあるのか。

委員C：私も、部活動在り方会議に、出席しているため、お答えさせていただく。そちらについては、現在、検討中である。登録ということについても、

指導について、どういう人物を指導者に適した人と言うのかというようなことも会議の中で話に出ている。いろいろと矛盾をはらんだところもあるが、先生の立場、子供たちの立場、保護者の願いなど、色々と意見を出し合いながら、教育委員会を中心に話を進めている。

(2) 報告

①オリンピック・パラリンピック関連事業等について

聖火リレーや事前キャンプ事業等について報告を行い、質問事項は無かった。

②2021世界体操・新体操選手権北九州大会について

大会概要及び関連事業等について報告を行った。

委員：質問ではないが、世界体操と新体操を観戦させていただき、選手の活躍はもちろん、安全安心な中、大会が開催でき、観戦者としてもとても気持ちの良い大会であった。スタッフの皆さんや、ボランティアスタッフの皆さんの対応も良く、本当に素晴らしい大会だったと思う。

③北九州マラソン2022について

北九州マラソン2022大会概要、大会ゲスト等について報告を行った。

委員：北九州マラソン開催の時期であるが、大体、第三日曜日に今後も開催予定なのか。

事務局：現在、北九州マラソンは、第三回目の大会からは、第三日曜日ということで、大体、予定している。2月の気象状況を含めた、もろもろの事情を勘案したものであり、基本的には2月の第三日曜日で運営してまいりたいと思っている。ちなみに2023年大会に関しては、令和5年2月19日の日曜日を想定しており、こちらも2月の第三日曜日に開催予定としている。

④その他

事務局：来年度末で計画期間が終了する本市のスポーツ振興計画の見直しについては、東京オリンピック・パラリンピックや、そのレガシーを踏まえて策定され、来年度から施行される、国の次期スポーツ基本計画の状況も、審議会での議論の材料にする必要があると考えている。

国の動向を見ながら、然るべき時期に審議会へスポーツ振興計画に関する議論をお願いし、ご意見をいただきたいと思いますと考えている。

会長：次期北九州市スポーツ振興計画の策定に向け、今後、本格的に議論する必要がある。国の次期計画の方向性が明らかになり次第、その内容を踏まえ、審議会で議論したいと思う。